



平成27年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年8月7日

上場会社名 丸一鋼管株式会社 上場取引所 東
 コード番号 5463 URL http://www.maruichikokan.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼CEO (氏名) 鈴木 博之
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経理部長 (氏名) 河村 康生 (TEL) 06-6531-1201
 四半期報告書提出予定日 平成26年8月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第1四半期の連結業績 (平成26年4月1日～平成26年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	37,006	19.2	5,067	5.5	5,550	△1.9	3,716	7.8
26年3月期第1四半期	31,035	8.1	4,804	30.6	5,659	35.8	3,446	—

(注) 包括利益 27年3月期第1四半期 3,567百万円(△53.1%) 26年3月期第1四半期 7,601百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第1四半期	43.86	43.82
26年3月期第1四半期	40.67	40.64

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第1四半期	302,042	242,752	76.8
26年3月期	300,482	242,520	77.3

(参考) 自己資本 27年3月期第1四半期 232,044百万円 26年3月期 232,351百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	25.00	—	48.50	73.50
27年3月期	—	—	—	—	—
27年3月期(予想)	—	25.00	—	50.50	75.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 平成27年3月期の連結業績予想 (平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	75,000	18.0	9,700	2.6	10,400	△4.0	6,900	5.3	81.43
通期	156,000	14.2	19,800	△1.4	21,300	△5.7	13,800	0.4	162.86

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

27年3月期1Q	94,000,000株	26年3月期	94,000,000株
27年3月期1Q	9,265,222株	26年3月期	9,265,038株
27年3月期1Q	84,734,866株	26年3月期1Q	84,730,756株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策及び円安による企業収益の回復や雇用環境の改善が見られたこと、消費税率引上げの影響が軽微であったことなどから景気は緩やかな回復基調のうちに推移致しました。海外では米国の景気回復や低迷していた欧州景気の下げ止まりがみられる一方で、新興国経済の成長の鈍化などもあり、依然として景気の先行きは不透明な状況が続いております。

(日本)

国内事業につきましては、当社主力製品である建築・土木用鋼管需要は消費税増税及び人手不足による工事の遅れ等の影響も多少ありましたが、雪害の復旧の為にPZ鋼管の販売増もあり、総じて堅調に推移し、販売数量は6.7%増加致しました。一方、製品価格については、1-3月期における高炉メーカーのコイル値上げによる原材料コスト上昇分の製品価格の転嫁は、当期は実行が困難でありました。

以上により国内事業の売上高は246億3千万円（前年同期比10.3%増）、セグメント利益は50億6千万円（前年同期比12.8%増）の結果となりました。

(北米)

北米事業につきましては、当第1四半期連結会計期間より、自動車向け鋼管を生産するメキシコの製造子会社であるマルイチメクス S.A. de C.V. (Maruichimex社)の重要性が増したため、新たに連結の範囲に含めております。

販売面では、米国のマルイチ・レビット・パイプ・アンド・チューブLLC (Leavitt社)において販売数量が増加したことにより、売上高は52億6百万円（前年同期比29.0%増）と増加し、利益面ではマルイチ・アメリカン・コーポレーション (MAC社)の寄与により、セグメント利益は5千8百万円（前年同期比55.1%増）を計上致しました。

(アジア)

アジア事業につきましては、ベトナムのマルイチ・サン・スチール・ジョイント・ストック・カンパニー (SUNSCO社)で昨年末から新規大型設備の稼働に伴い販売数量が増加したことにより、売上高は71億6千9百万円（前年同期比53.2%増）と大幅に増加致しましたが、同社の償却等コスト増及び同地域の市況低迷などによりセグメント損失7千5百万円を計上致しました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における業績は、売上高は370億6百万円（前年同期比19.2%増）、営業利益は50億6千7百万円（前年同期比5.5%増）、経常利益は55億5千万円（前年同期比1.9%減）、四半期純利益は37億1千6百万円（前年同期比7.8%増）を計上いたしました。

なお、対米ドル換算レートは1米ドル102円78銭であります。

(2) 財政状態に関する説明

(総資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は3,020億4千2百万円（前連結会計年度比15億5千9百万円の増加）となりました。

主な内容は、流動資産については、主として原材料及び貯蔵品が18億9千1百万円増加したことにより流動資産合計で23億8千5百万円増加しました。固定資産については、有形固定資産が8億3千5百万円増加しましたが、投資有価証券が15億1千9百万円減少したことなどにより、固定資産合計で8億2千5百万円減少しました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債は592億8千9百万円（前連結会計年度比13億2千7百万円の増加）となりました。

主な内容は、支払手形及び買掛金が23億9千5百万円増加したことにより、流動負債合計で21億7千4百万円増加しました。固定負債については、長期借入金金が10億5千2百万円減少したことにより、固定負債合計で8億4千6百万円減少しました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は2,427億5千2百万円（前連結会計年度比2億3千2百万円の増加）となりました。

主な内容は、為替換算調整勘定が9億1千1百万円減少しましたが、その他有価証券評価差額金が8億5千6百万円、少数株主持分が5億3千9百万円増加したことなどによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年5月9日に公表いたしました業績予想の修正を行っております。詳細につきましては、本日開示しております「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

セグメント別の今後の見通しについては、以下のとおりです。

(日本)

国内事業につきましては、9月以降は数量面では公共工事や設備投資を中心に建築・土木用鋼管の需要回復及び自動車等ユーザー向けも堅調な生産活動が見込まれます。一方、原材料であるコイル価格上昇分の転嫁が依然として課題ではありますが、コストダウン及び営業努力により業績目標達成に努めてまいります。生産に関しては、新東京工場への集約に伴い、製品の高品質化、多様化など生産の効率化に努めてまいります。また、電力不足や電気料金値上げに対応するために取り組んでいる太陽光発電事業については引き続き事業の拡大を進めてまいります。

(北米)

北米事業につきましては、Leavitt社では設備増強を背景に建築用、自動車用、エネルギー分野などの需要に対応した生産・販売の拡大に努めてまいります。一方、Maruichimex社では、自動車関連の需要の拡大が見込まれるため、今年中の完成を目指し、新たに第2工場の建設を進めております。また、6月に自動車用パイプ二次加工を行うALPHAMETAL MEXICO S.A. de C.V.を設立しましたので、Maruichimex社と協働して自動車メーカーへの供給拡大を図ってまいります。

(アジア)

アジア事業につきましては、SUNSCO社では新規の大型設備に加えて、小径ミル2ライン（2インチ及び4インチミル）の設置を現在進めております。同地域の日系ユーザーにも対応出来る供給体制が整備されますので、販売数量の拡大と採算の改善を図ってまいります。また、インドのマルイチ・クマ・スチール・チューブ・プライベート・リミテッド（KUMA社）では、バンガロールで年末完成予定で第2工場の建設を進めており、供給体制の強化を図ってまいります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて当第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更し、割引率の決定方法を従業員の平均残存勤務期間に近似した年数に基づく割引率から退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更いたしました。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第1四半期連結会計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第1四半期連結会計期間の期首の退職給付に係る負債が334百万円減少し、利益剰余金が215百万円増加しております。また、これによる当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益、税金等調整前四半期純利益及びセグメント情報に対する影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	63,921	63,283
受取手形及び売掛金	33,098	33,663
有価証券	20,681	20,609
製品	9,351	9,304
原材料及び貯蔵品	15,897	17,789
その他	3,630	4,307
貸倒引当金	△252	△245
流動資産合計	146,328	148,713
固定資産		
有形固定資産		
土地	30,514	30,553
その他	51,120	51,916
有形固定資産合計	81,634	82,470
無形固定資産		
のれん	325	306
その他	1,371	1,308
無形固定資産合計	1,696	1,614
投資その他の資産		
投資有価証券	67,552	66,033
その他	3,270	3,210
投資その他の資産合計	70,823	69,243
固定資産合計	154,154	153,328
資産合計	300,482	302,042

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年 3月31日)	当第1 四半期連結会計期間 (平成26年 6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	19,625	22,020
短期借入金	6,706	7,807
未払法人税等	4,416	2,193
賞与引当金	861	422
役員賞与引当金	80	71
その他	5,772	7,121
流動負債合計	37,462	39,636
固定負債		
長期借入金	12,675	11,623
役員退職慰労引当金	52	55
退職給付に係る負債	3,405	3,057
繰延税金負債	4,151	4,685
その他	214	231
固定負債合計	20,499	19,652
負債合計	57,962	59,289
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,595	9,595
資本剰余金	15,821	15,821
利益剰余金	220,002	219,734
自己株式	△20,492	△20,492
株主資本合計	224,927	224,658
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	9,108	9,964
為替換算調整勘定	△1,615	△2,527
退職給付に係る調整累計額	△68	△51
その他の包括利益累計額合計	7,424	7,385
新株予約権	112	112
少数株主持分	10,056	10,595
純資産合計	242,520	242,752
負債純資産合計	300,482	302,042

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
売上高	31,035	37,006
売上原価	23,482	28,840
売上総利益	7,553	8,166
販売費及び一般管理費	2,748	3,099
営業利益	4,804	5,067
営業外収益		
受取利息	36	19
受取配当金	354	393
持分法による投資利益	79	131
為替差益	362	—
その他	183	225
営業外収益合計	1,015	770
営業外費用		
支払利息	31	78
為替差損	—	109
不動産賃貸費用	63	63
その他	65	35
営業外費用合計	160	286
経常利益	5,659	5,550
特別利益		
投資有価証券売却益	1	574
その他	0	14
特別利益合計	2	588
特別損失		
固定資産除却損	2	0
その他	9	0
特別損失合計	11	0
税金等調整前四半期純利益	5,650	6,139
法人税等	1,993	2,452
少数株主損益調整前四半期純利益	3,656	3,686
少数株主利益又は少数株主損失(△)	210	△29
四半期純利益	3,446	3,716

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	3,656	3,686
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,253	1,155
為替換算調整勘定	1,586	△645
退職給付に係る調整額	—	12
持分法適用会社に対する持分相当額	104	△641
その他の包括利益合計	3,944	△119
四半期包括利益	7,601	3,567
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	6,854	3,677
少数株主に係る四半期包括利益	746	△110

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結損益 計算書計上額
	日本	北米	アジア	計		
売上高						
外部顧客への売上高	22,322	4,034	4,678	31,035	—	31,035
セグメント間の 内部売上高又は振替高	35	—	—	35	△35	—
計	22,357	4,034	4,678	31,070	△35	31,035
セグメント利益	4,486	37	282	4,806	△1	4,804

- (注) 1. セグメント利益の調整額△1百万円はセグメント間取引消去であります。
2. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結損益 計算書計上額
	日本	北米	アジア	計		
売上高						
外部顧客への売上高	24,630	5,206	7,169	37,006	—	37,006
セグメント間の 内部売上高又は振替高	320	—	—	320	△320	—
計	24,951	5,206	7,169	37,327	△320	37,006
セグメント利益又は損失(△)	5,060	58	△75	5,044	22	5,067

- (注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額22百万円はセグメント間取引消去であります。
2. セグメント利益又は損失(△)は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
3. 第1四半期連結会計期間において、マルイチメックス S.A. de C.V.を連結の範囲に含めたため、北米事業における資産の金額が著しく増加しております。この結果、当該増加額を含めた第1四半期連結会計期間末の北米事業の資産残高は、17,334百万円(前連結会計年度末15,671百万円)であります。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。